

「喫煙がランニングに及ぼす影響に関するアンケート調査」 ご協力をお願い（館山若潮マラソン参加者用）

＜この文書を読むにあたって＞

この文書は「喫煙がランニングに及ぼす影響に関するアンケート調査」（以下、本調査）について、その内容を説明したものです。ご納得の上でアンケートにご協力いただける場合は、アンケート本文の『このアンケートにご協力いただけますか？』の質問において『はい』をご選択ください。説明の中で疑問、質問等がございましたら、遠慮なくこの文末に記載された連絡先までご連絡ください。なお、今回の調査は、東京理科大学の「人を対象とする医学系研究に係る倫理審査委員会」の審議に基づく学長の許可を得ています。

1. 本調査の名称

喫煙がランニングに及ぼす影響に関するアンケート調査

2. 本調査の意義および目的

我が国では、ここ最近、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた受動喫煙防止対策が話題となっています。そんな中、日本各地で開催されている数あるマラソン大会のうち喫煙対策を十分に施している大会は現状ではほとんどありません。

昨年、いびがわマラソンとつくばマラソンの参加者に対して我々が行なったアンケート調査では、参加者合計21523名のうち1794名の方から回答をいただき（回収率8.3%）、全回答者中、喫煙歴のない方が51.2%、過去に喫煙歴があり現在は非喫煙者（過去喫煙者）の方が42.8%、現喫煙者の方が5.8%（9本/日以下：2.0%、10～19本/日：2.7%、20本/日以上：1.1%）であり、喫煙者率は日本人全体と比較して極めて低いことが明らかとなりました。その中でも、過去喫煙者の方のうち喫煙期間中にランニングを開始した方が220名存在していました。

そこで今回は、過去喫煙者で喫煙期間中にランニングを開始した方の禁煙前後でのフルマラソンのタイムを比較することにより、喫煙がランニングに及ぼす影響を間接的に評価することを目的としてアンケート調査を行うこととなりました。

3. 本調査の対象者

2018年11月11日に岐阜県揖斐郡揖斐川町にて開催の**いびがわマラソン**、同月25日に茨城県つくば市にて開催の**つくばマラソン**、および、2019年1月27日に千葉県館山市にて開催の**館山若潮マラソンのフルマラソンの部に参加予定の20歳以上の全ての方**が対象となります。

4. 本調査の方法

- ① この説明文書をお読み頂き、ご納得の上でアンケートにご協力いただける場合は、
- ②-1 **大会公式サイト**の**トップページ**から、あるいは、**下記 URL (QR コード) からアンケートサイトにアクセス**の上、**2月10日まで**にご回答ください。
- ②-2 **アンケート用紙をお持ちの場合**は、ご回答いただいたアンケート用紙を、**大会前日**あるいは**当日**に会場の指定の場所でご提出ください。

注) **アンケートサイトからのご回答が困難で、さらにアンケート用紙を提出し忘れた場合**は、ご回答いただいたアンケート用紙をスキャンまたは写真で撮影したものを、問い合わせ先（tatsunori.s@rs.tus.ac.jp）までメールにて送信していただければ幸いです。



<https://bit.ly/2PyiGVj>

5. 本調査のアンケート内容と利用目的

本調査では以下の内容を質問させていただきます。

参加大会、ピブ（ゼッケン）ナンバー（この項目は同一被験者による重複回答を避ける目的のみに利用します）、性別、大会当日の年齢、習慣として走り始めた時の年齢、喫煙歴、喫煙を始めた時の年齢、最後に喫煙（禁煙）した時の年齢、喫煙していた時期のランニングの有無、禁煙直前の喫煙状況、禁煙直前 1 年間のフルマラソン自己最速タイム、禁煙直後 1 年間のフルマラソン自己最速タイム、フルマラソンの生涯自己最速タイムとその時の年齢、喫煙の走力へ及ぼす影響についての認識、マラソン大会における喫煙に関する意見

本調査によって、フルマラソンの自己最速タイムと喫煙の関係が明確化された場合、現在喫煙されているランナーの一部が禁煙へ向かう可能性があります。また、得られた結果は、「今後のマラソン大会における喫煙のあり方」を検討していく上での参考にする予定です。

6. プライバシーの保護について

本調査ではピブ（ゼッケン）ナンバーを収集させていただきますが、ピブ（ゼッケン）ナンバーの情報は重複回答を除外する目的にのみ使用し、データ収集後直ちに、他の情報とは切り離して削除することとします。その他の情報には個人を特定できる内容は含まれておりませんが、データの管理は東京理科大学が責任をもって行います。その際、情報が漏れることのないよう十分留意します。

7. 本調査終了後の対応・研究結果の公表

本調査の終了後、収集した情報は厳重に管理した上で保存します。また、集計結果は関連する学会・雑誌等で公表する予定ですが、個人を特定できる情報が公表されることはありません。

8. 本調査の資金源と企業・団体等の関与

本調査は東京理科大学から研究室に配分される教員教育研究費を用いて行われます。また、本調査はいびがわマラソン実行委員会、つくばマラソン実行委員会および、館山若潮マラソン大会事務局の協力にて実施されますが、金銭授受等の利害関係は存在せず、利害の衝突によって研究の透明性や信頼が損なわれるような状況は生じません。なお、東京理科大学利益相反委員会への報告を行います。

9. 知的財産権の帰属

本調査の成果により特許権等の知的財産権が生じる可能性は極めて低いですが、万が一生じた場合でも、その権利は研究機関に属し、本調査の参加者の方には属しません。

10. 問い合わせ先

調査責任者：東京理科大学薬学部 准教授 鈴木立紀（鈴木研究室）

住所：〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641 19号館 3階

電話：04-7121-1501（内線 6504）

E-mail：tatsunori.s@rs.tus.ac.jp

2019年1月

通知（または情報公開）者 所属 東京理科大学薬学部 鈴木研究室

氏名 鈴木立紀